

# 東洋炭素株式会社

## 2023年12月期第2四半期 決算説明資料

2023年8月21日

東洋炭素株式会社

# 2023年12月期第2四半期 決算概要

---

# 1. 2023年12月期第2四半期 業績

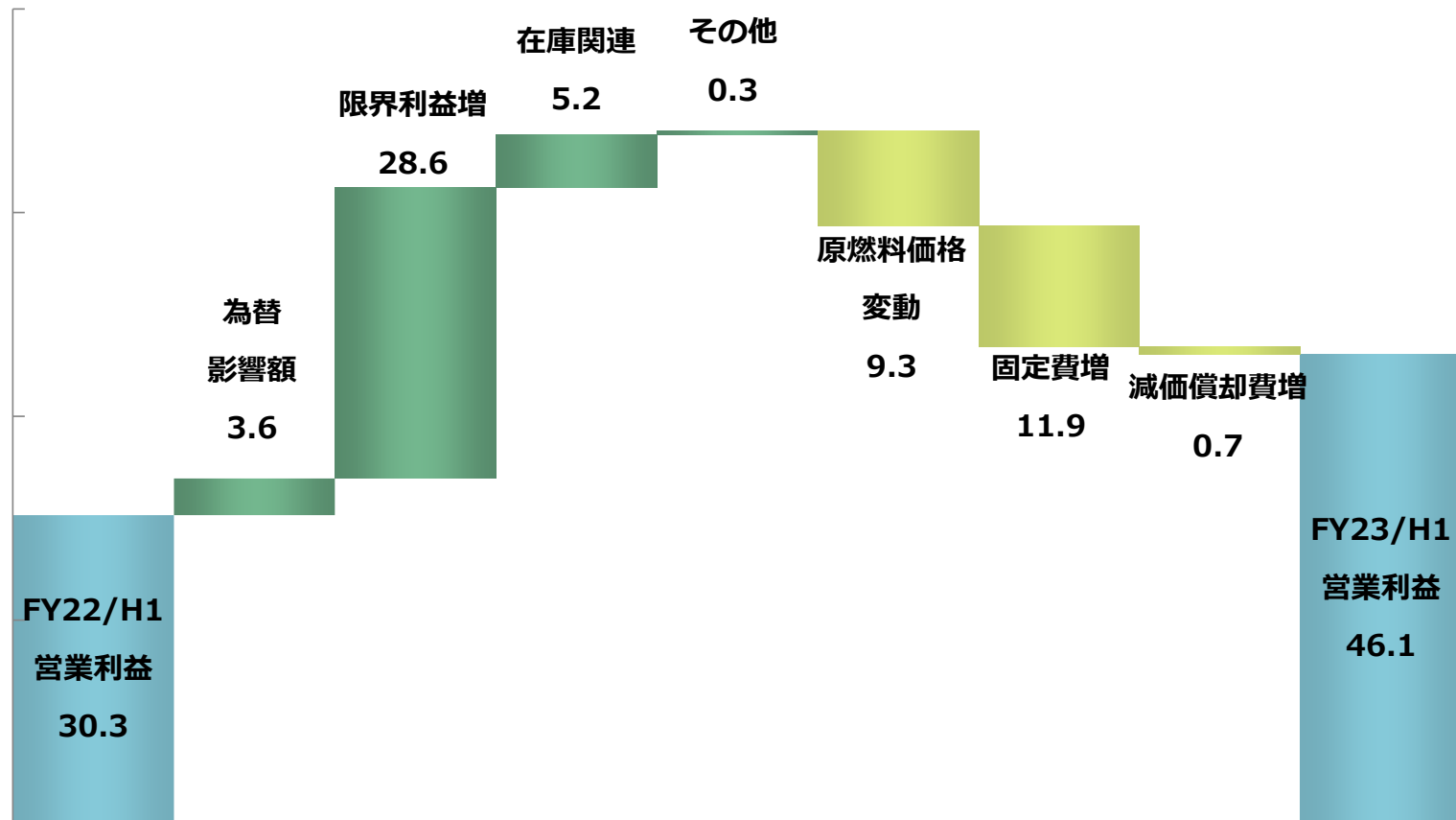
	FY22/H1	FY23/H1			
		(F)	(A)	前年同期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	20,293	23,000	23,712	+ 3,419 / + 16.8 %	+ 712 / + 3.1 %
営業利益	3,039	3,800	4,610	+ 1,571 / + 51.7 %	+ 810 / + 21.3 %
(売上高営業利益率)	15.0%	16.5%	19.4%		
経常利益	3,705	3,800	5,338	+ 1,633 / + 44.1 %	+ 1,538 / + 40.5 %
(売上高経常利益率)	18.3%	16.5%	22.5%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,564	2,600	4,128	+ 1,563 / + 61.0 %	+ 1,528 / + 58.8 %
1株当たり 四半期純利益	122円29銭	123円97銭	196円85銭		
為替レート	122.9円/\$ 134.3円/€ 18.9円/人民元	124円/\$ 136円/€ 18円/人民元	134.8円/\$ 145.8円/€ 19.5円/人民元		

## 2. 営業利益増減要因

(2022年12月期H1 vs 2023年12月期H1)

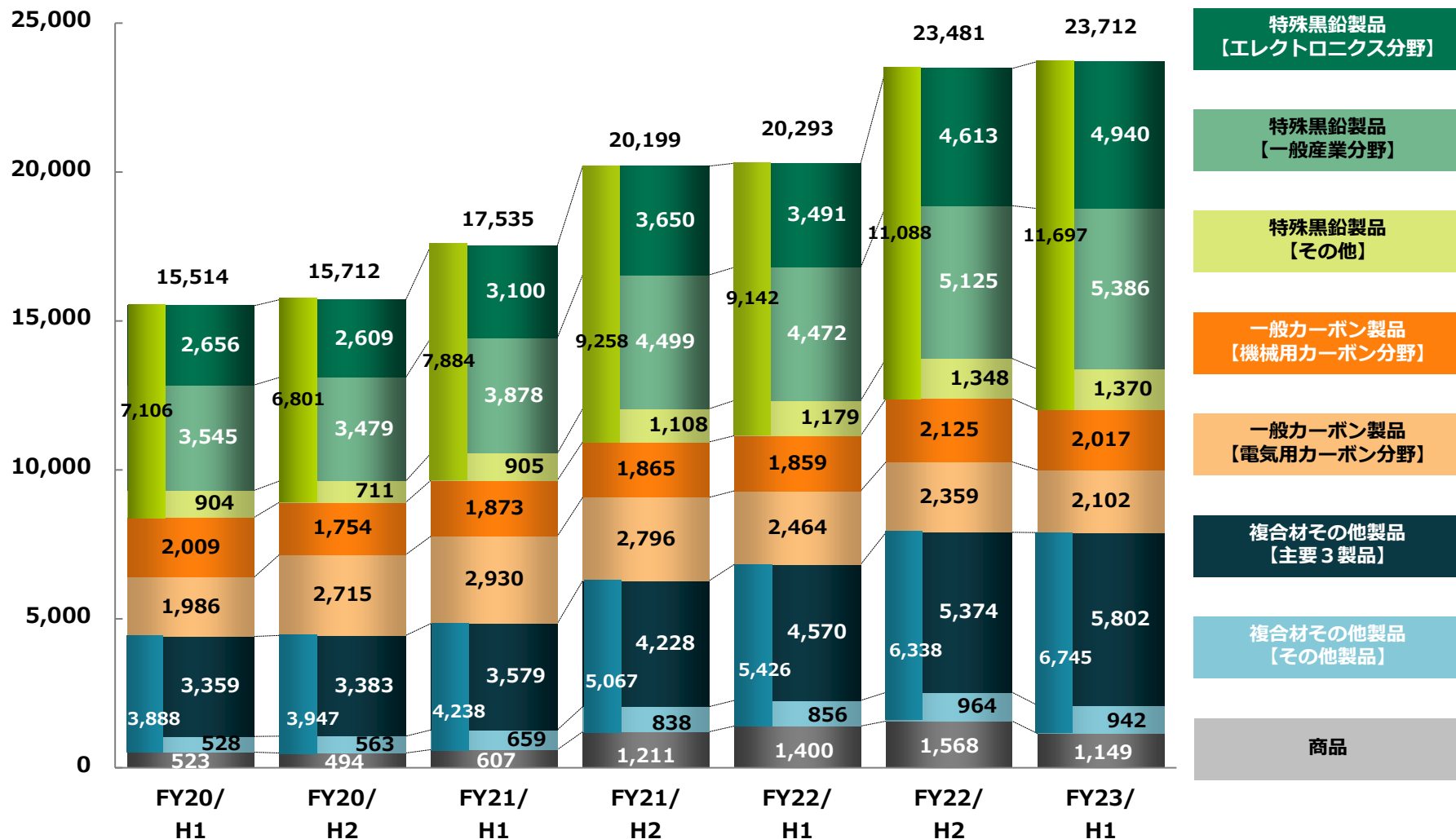
- ✓ 限界利益増（製品構成・価格転嫁・一過性の高付加価値品販売）と円安が、人件費等の固定費や原燃料価格の増加を吸収し、前年同期比+51.7%の増益

(単位：億円)



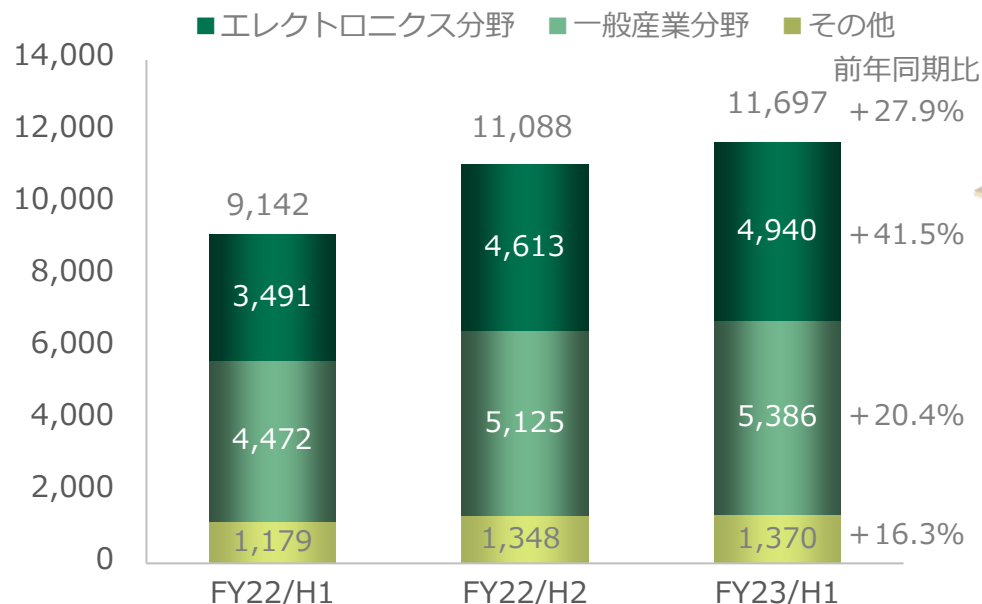
### 3. 製品・分野別売上高

(単位：百万円)



### 3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



連続鋳造用ダイス



単結晶シリコン製造装置



放電加工用電極

#### 【エレクトロニクス分野】

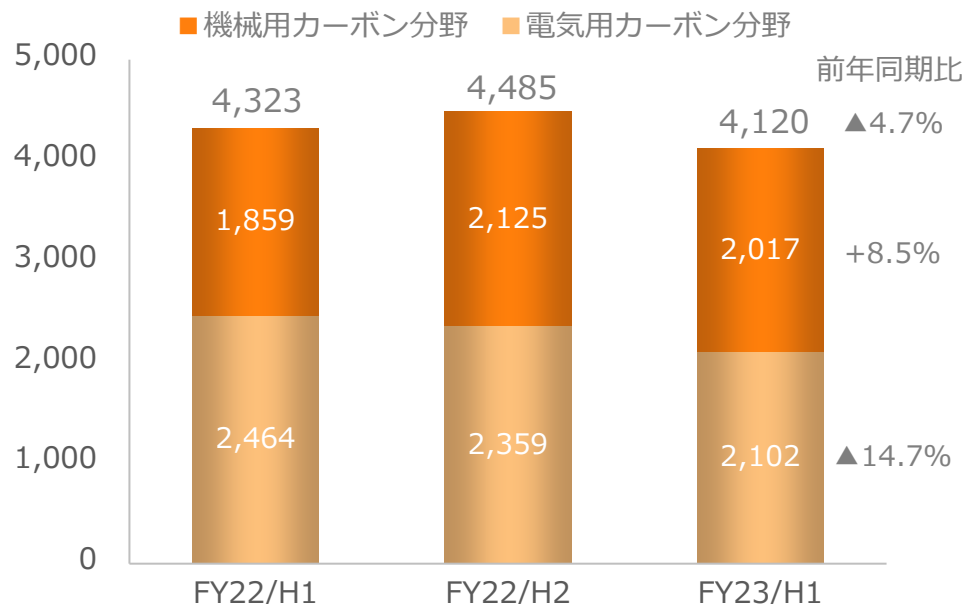
単結晶シリコン製造用・SiCウエハー向けの化合物半導体製造用ともに力強い需要が継続し、前年同期比大幅増。両用途とも過去の最高売上を更新。太陽電池製造用は選別受注により大幅に抑制。

#### 【一般産業分野】

自動車関連産業の稼働回復や底堅い設備投資等を背景に、連続鋳造用や工業炉用の需要は前年同期より大幅に増加。放電加工電極も堅調に推移。

### 3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



#### 【機械用カーボン分野】

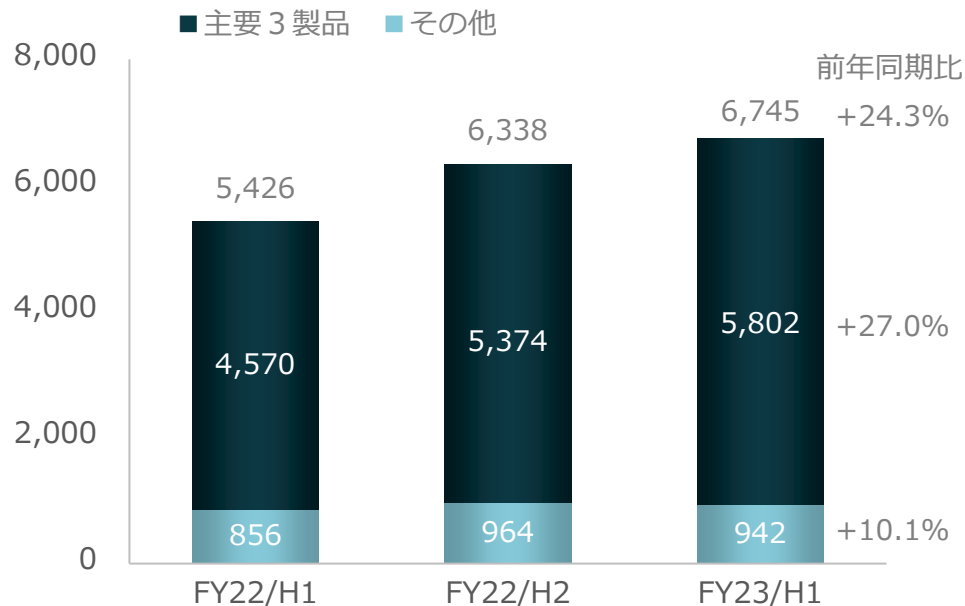
軸受・シールリング、パンタグラフ用すり板とも需要堅調で前年同期比増。

#### 【電気用カーボン分野】

家電・電動工具向け小型モーター用は、顧客の生産調整の影響で需要大幅減。  
大型モーター用は、製品の性能の高さが認められ用途開拓が着実に進展。ボリューム小さいものの風力発電をはじめとした産業機械向けの採用進む。

### 3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

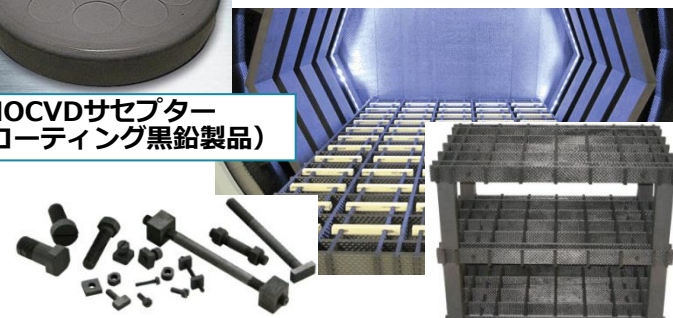
(単位：百万円)



MOCVDサセプター  
(SiCコーティング黒鉛製品)



黒鉛シート製品



ボルト・ナット  
(C/Cコンポジット製品)

三段トレイ  
(C/Cコンポジット製品)

#### 【主要3製品】

SiCコーティング黒鉛製品は、シリコン/SiCエピ用途が前年同期より大幅伸長。特にSiCエピ用途の伸びが顕著。LED用は主力の中国はじめアジア市場の調整により低調。

C/Cコンポジット製品は、工業炉用と半導体用が好調で、前年同期比大幅増。

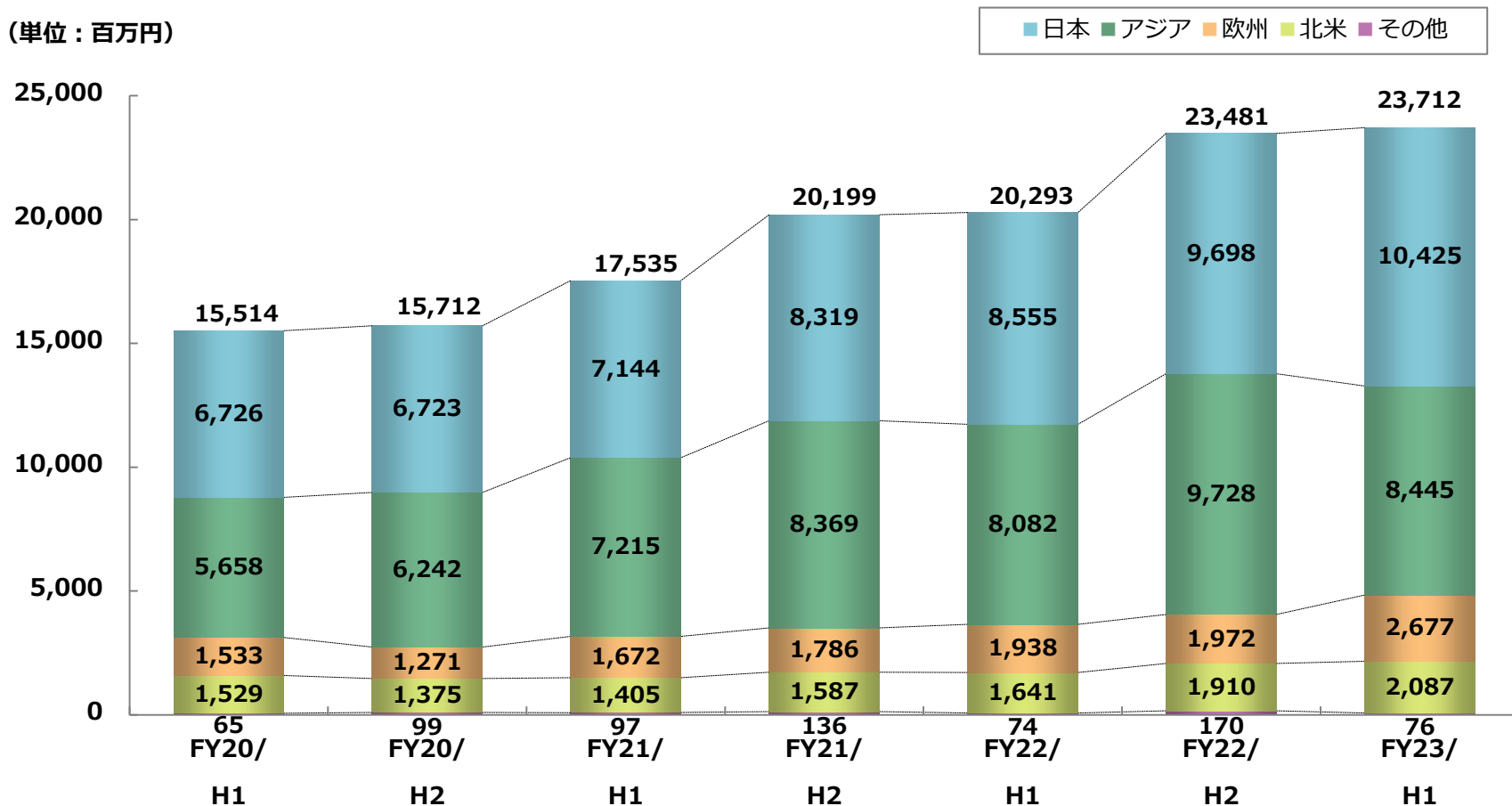
黒鉛シート製品は、自動車用途は底這いも、半導体・冶金用の需要堅調で、前年同期比増。



# 4. 地域別売上高

✓日本・欧州・北米は半導体・冶金用の需要に支えられ着実に増加  
アジア地域も電気用カーボン・一部地域の調整あるも前年同期比プラスで着地

(単位：百万円)



## 5. 2023年12月期第2四半期

### 連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	22/6月末	22/12月末	23/6月末		FY22/H1	FY23/H1
資産合計	87,847	89,432	92,203	現金及び現金同等物 の期首残高	12,470	11,773
受取手形及び売掛金	15,373	16,606	16,464	現金及び現金同等物 の増減額	▲ 199	852
棚卸資産	17,981	18,416	20,939	現金及び現金同等物 の四半期末残高	12,270	12,626
有形固定資産	31,604	31,138	32,096	営業活動によるCF	3,032	2,329
負債・純資産合計	87,847	89,432	92,203	投資活動によるCF	▲ 2,489	60
有利子負債	219	285	0	財務活動によるCF	▲ 1,342	▲ 1,860
資本金	7,947	7,947	7,947			
純資産	76,012	77,200	81,131			
自己資本比率	86.5%	86.3%	87.9%			

# 2023年12月期業績予想

---

# 1. 2023年12月期業績予想

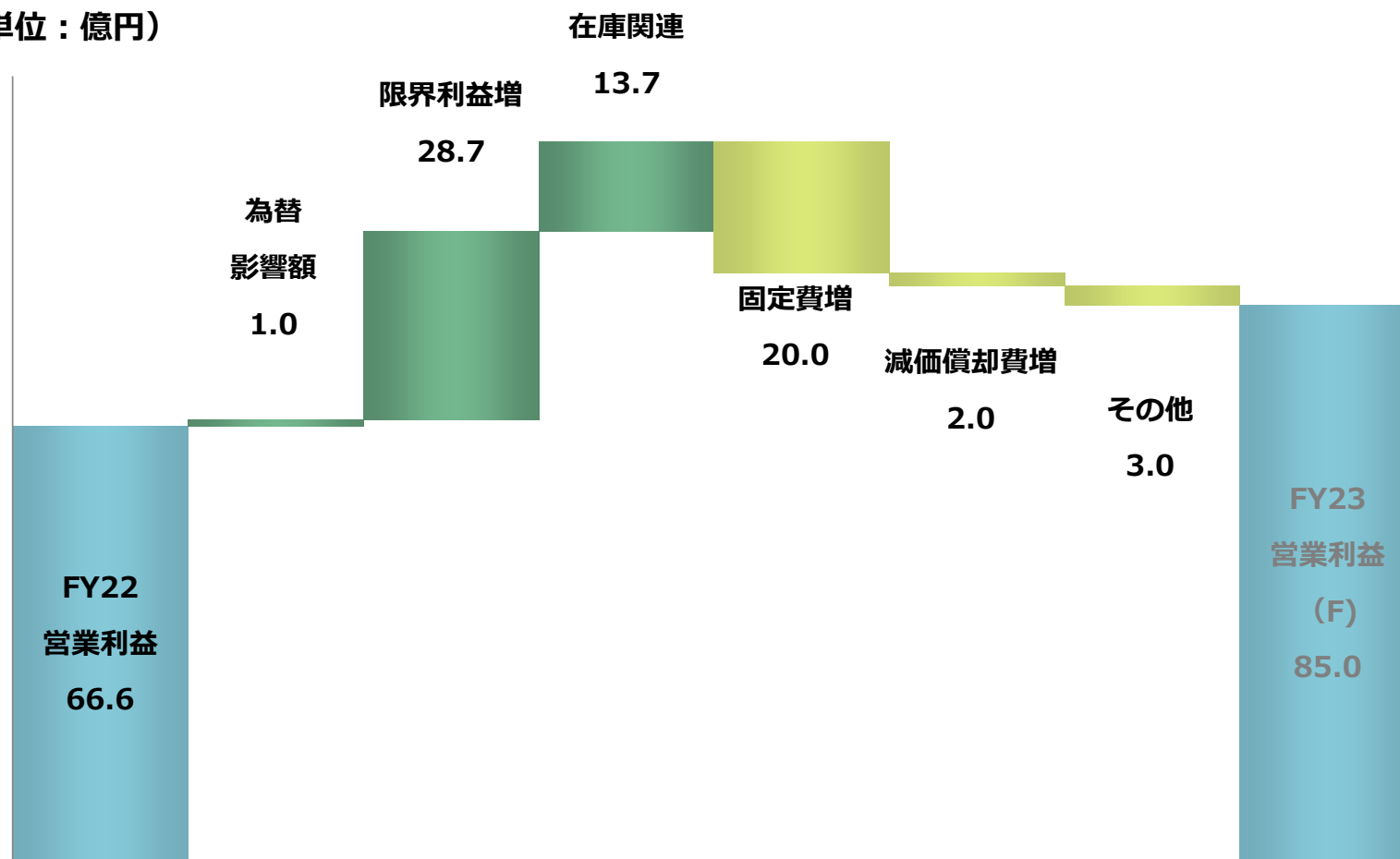
(単位：百万円)	FY22		FY23		FY23		前期比	前回予想比
	内訳		前回 (F) *	今回 (F)	内訳			
売上高	43,774	H1 20,293	47,000	48,500	H1 (A) 23,712	+ 4,725 / + 10.8 %	+ 1,500 / + 3.2 %	
		H2 23,481			H2 (F) 24,787			
営業利益	6,667	H1 3,039	8,000	8,500	H1 (A) 4,610	+ 1,832 / + 27.5 %	+ 500 / + 6.3 %	
		H2 3,628			H2 (F) 3,889			
(売上高営業利益率)	15.2%		17.0%	17.5%				
経常利益	7,369	H1 3,705	8,000	9,300	H1 (A) 5,338	+ 1,930 / + 26.2 %	+ 1,300 / + 16.3 %	
		H2 3,664			H2 (F) 3,961			
(売上高経常利益率)	16.8%		17.0%	19.2%				
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,181	H1 2,564	5,500	7,000	H1 (A) 4,128	+ 1,818 / + 35.1 %	+ 1,500 / + 27.3 %	
		H2 2,617			H2 (F) 2,871			
1株当たり 当期純利益	247円08銭	H1 122円29銭	262円25銭	333円77銭	H1 (A) 196円85銭			
		H2 124円79銭			H2 (F) 136円92銭			
ROE	6.9%		6.9%	8.8%				
為替レート	131.5円/\$ 138.1円/€ 19.5円/人民元		(H2前提) 124円/\$ 133円/\$ 136円/€ 146円/€ 18円/人民元					

\* 2023年2月14日公表

## 2. 営業利益増減要因 (2022年12月期 vs 2023年12月期)

- ✓ 主に人件費を中心とした固定費と減価償却費等が増加も  
限界利益増（数量・価格転嫁・製品構成）と在庫関連の影響で+27.5%の増益

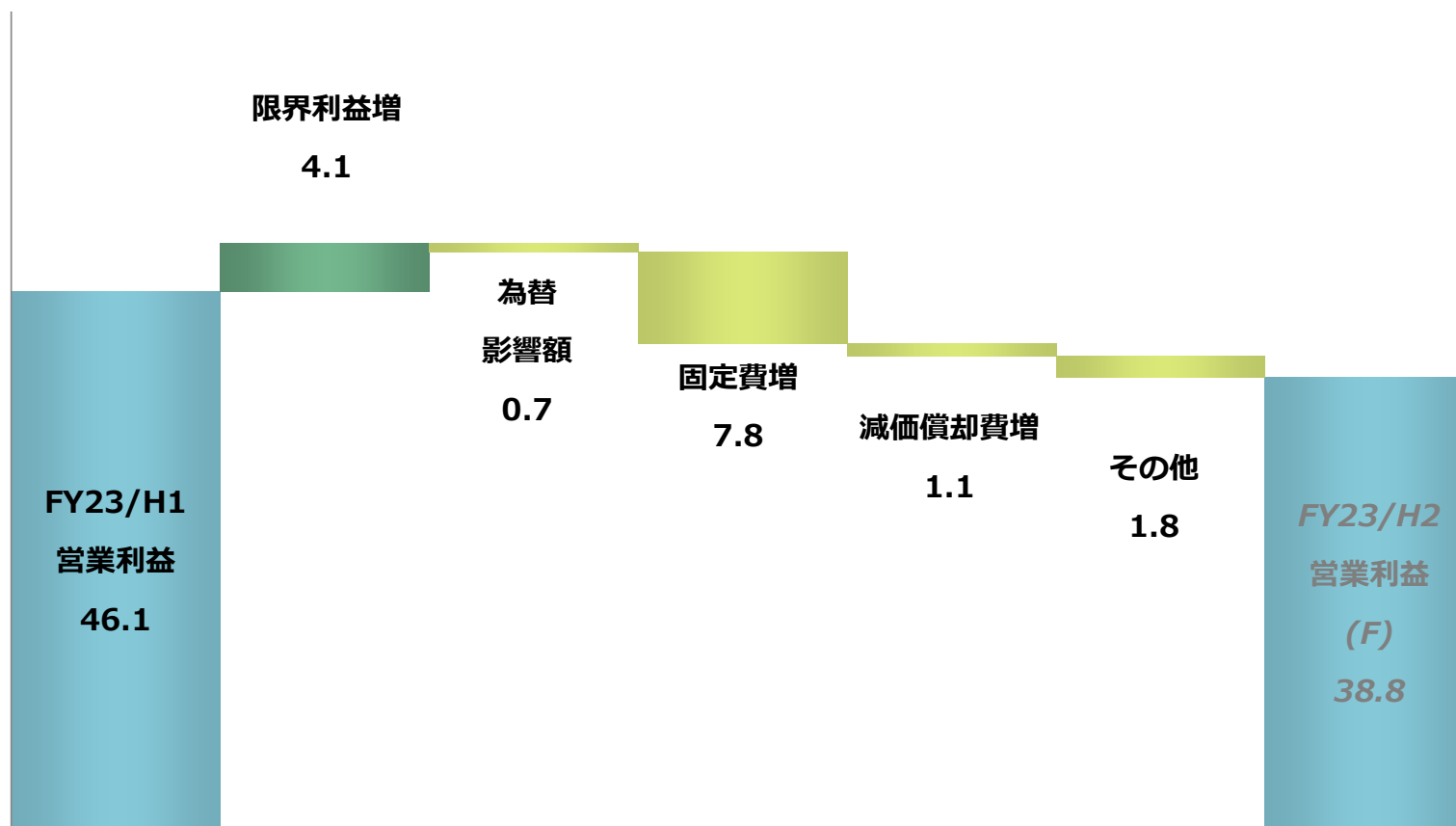
(単位：億円)



## 2. 営業利益増減要因 (2023年12月期H1 vs H2)

- ✓ 売上増により限界利益が増加するも、人件費増により固定費が増加
- ✓ 製品構成差（一般カーボン減・商品増）による限界利益率減と固定費増加により下期計画見直し

(単位：億円)



### 3. 製品・分野別売上高

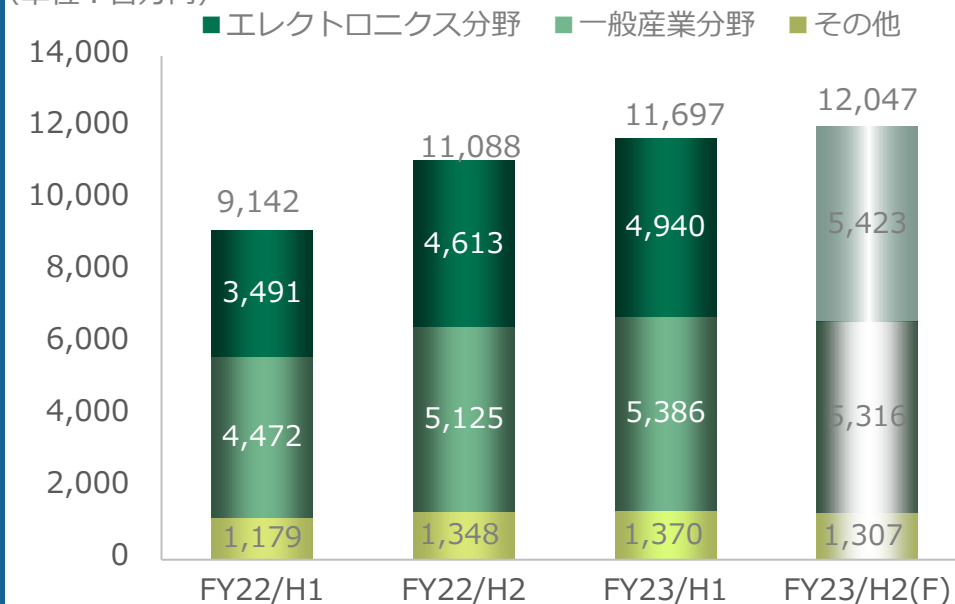
製品・分野別 (単位：百万円)	FY22			FY23					
	H1	H2	通期	H1	増減 (%)	H2 (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
<b>特殊黒鉛製品</b>	9,142	11,088	<b>20,230</b>	11,697	+27.9%	12,047	+8.7%	<b>23,744</b>	+17.4%
<b>エレクトロニクス分野</b>	3,491	4,613	<b>8,104</b>	4,940	+41.5%	5,423	+17.6%	<b>10,363</b>	+27.9%
<b>一般産業分野</b>	4,472	5,125	<b>9,598</b>	5,386	+20.4%	5,316	+3.7%	<b>10,702</b>	+11.5%
<b>その他</b>	1,179	1,348	<b>2,527</b>	1,370	+16.3%	1,307	▲3.0%	<b>2,678</b>	+6.0%
<b>一般カーボン製品（機械用）</b>	1,859	2,125	<b>3,985</b>	2,017	+8.5%	1,923	▲9.5%	<b>3,940</b>	▲1.1%
<b>一般カーボン製品（電気用）</b>	2,464	2,359	<b>4,823</b>	2,102	▲14.7%	2,285	▲3.2%	<b>4,388</b>	▲9.0%
<b>複合材その他製品</b>	5,426	6,338	<b>11,765</b>	6,745	+24.3%	7,231	+14.1%	<b>13,976</b>	+18.8%
<b>主要3製品</b>	4,570	5,374	<b>9,944</b>	5,802	+27.0%	6,353	+18.2%	<b>12,156</b>	+22.2%
<b>その他</b>	856	964	<b>1,820</b>	942	+10.1%	877	▲9.0%	<b>1,820</b>	+0.0%
<b>商品</b>	1,400	1,568	<b>2,969</b>	1,149	▲17.9%	1,300	▲17.1%	<b>2,449</b>	▲17.5%
<b>合計</b>	<b>20,293</b>	<b>23,481</b>	<b>43,774</b>	<b>23,712</b>	<b>+16.8%</b>	<b>24,787</b>	<b>+5.6%</b>	<b>48,500</b>	<b>+10.8%</b>

### 3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY22			FY23					
	H1	H2	通期	H1	増減 (%)	H2 (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
<b>特殊黒鉛製品</b>	9,142	11,088	<b>20,230</b>	11,697	+27.9%	12,047	+8.7%	<b>23,744</b>	+17.4%
<b>エレクトロニクス分野</b>	3,491	4,613	<b>8,104</b>	4,940	+41.5%	5,423	+17.6%	<b>10,363</b>	+27.9%
<b>一般産業分野</b>	4,472	5,125	<b>9,598</b>	5,386	+20.4%	5,316	+3.7%	<b>10,702</b>	+11.5%
<b>その他</b>	1,179	1,348	<b>2,527</b>	1,370	+16.3%	1,307	▲3.0%	<b>2,678</b>	+6.0%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



#### 【エレクトロニクス分野】

・単結晶シリコン製造用・化合物半導体製造用ともに強い需要が継続。高付加価値用途を優先し、太陽電池製造用は選別受注継続。

#### 【一般産業分野】

・工業炉・連続鋳造用など冶金用の需要は底堅く、放電加工電極も引き続き堅調。

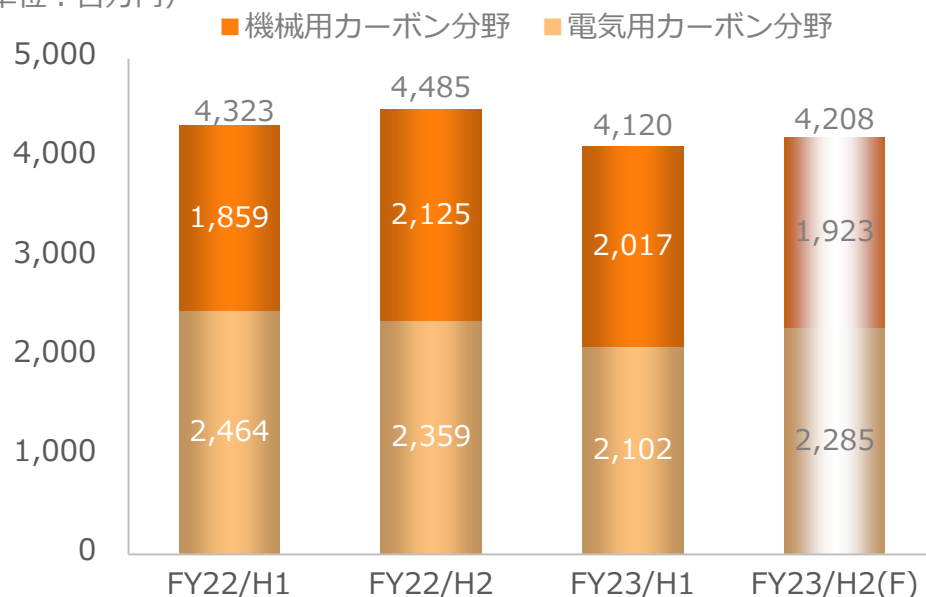


### 3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY22			FY23					
	H1	H2	通期	H1	増減 (%)	H2 (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
一般カーボン製品 (機械用)	1,859	2,125	3,985	2,017	+8.5%	1,923	▲9.5%	3,940	▲1.1%
一般カーボン製品 (電気用)	2,464	2,359	4,823	2,102	▲14.7%	2,285	▲3.2%	4,388	▲9.0%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



#### 【機械用カーボン分野】

- ・主力の軸受・シールリング等は、特定の向け先で調整あるも、全般的には需要安定。
- ・パンタグラフ用すり板も底堅い需要が継続。

#### 【電気用カーボン分野】

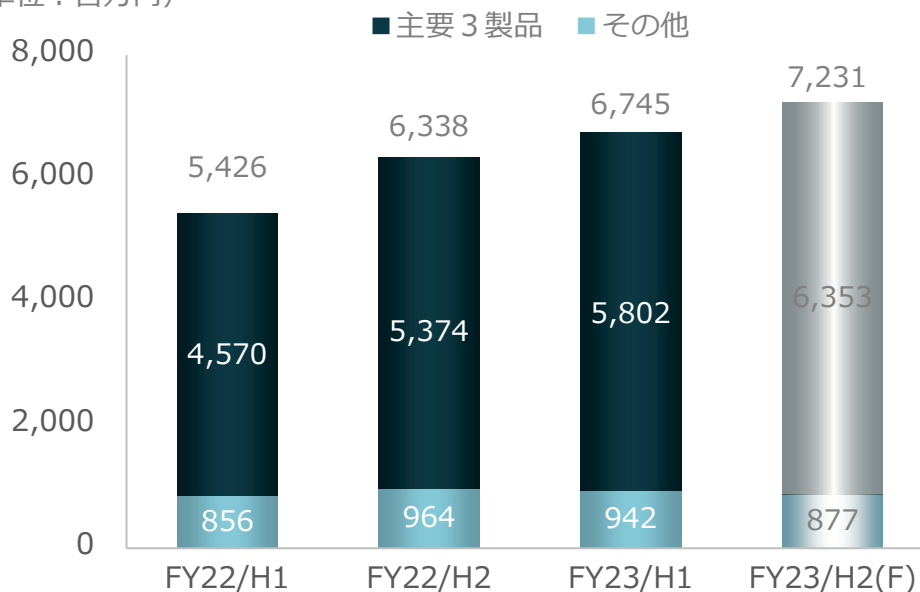
- ・家電・電動工具向け小型モーター用は、昨年下半年以降調整感が強まり、今期下期も底這い水準継続。
- ・産業機械向けの大型モーター用は、ボリューム小さいながら風力発電等の用途開拓が着実に進展。継続して取り組みを進める。

### 3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY22			FY23					
	H1	H2	通期	H1	増減 (%)	H2 (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
複合材その他製品	5,426	6,338	11,765	6,745	+24.3%	7,231	+14.1%	13,976	+18.8%
主要3製品	4,570	5,374	9,944	5,802	+27.0%	6,353	+18.2%	12,156	+22.2%
その他	856	964	1,820	942	+10.1%	877	▲9.0%	1,820	+0.0%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



#### 【主要3製品】

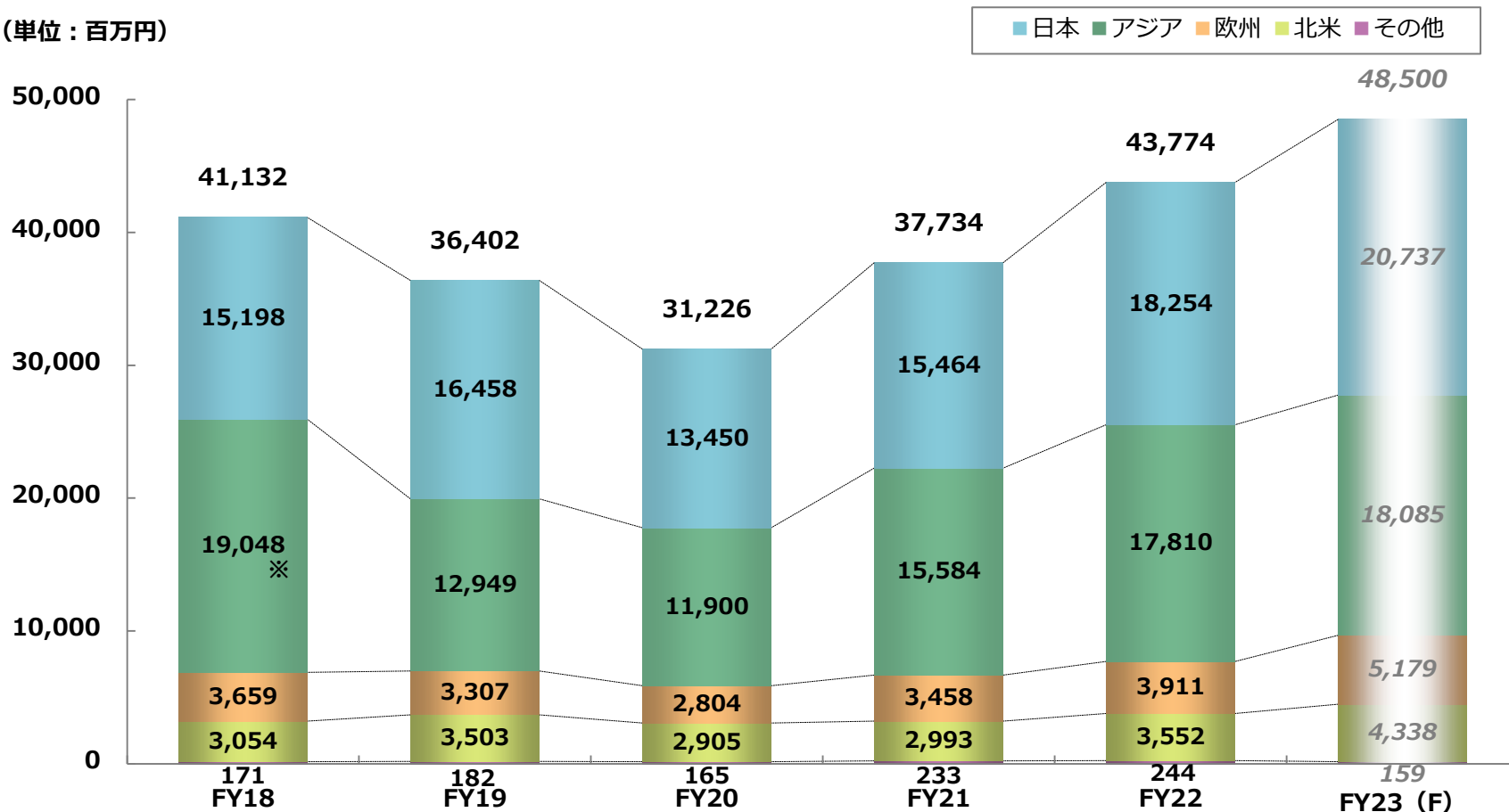
- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、SiCエピ用途の需要が強さ増す。シリコンエピ用途も需要高水準ながら、若干調整感は出ている。調整が続いていたLED向けは緩やかながら回復の兆しが垣間見える。
- ・ 2024年完成予定の増設投資の一部が先行稼働しており、下期より売上寄与。
- ・ C/Cコンポジット製品は、工業炉用が牽引し、前期比増の見込み。
- ・ 黒鉛シート製品は、自動車用・半導体用・冶金用いずれも底堅く前期並みの水準を維持。

## 4. 地域別売上高

✓ 各地域とも販売は着実に増加

✓ 納期・品質・コストを含めた生産活動をグループ全体で適時・適切に管理し、  
需要動向に応じタイムリーに供給できる体制を構築

(単位：百万円)



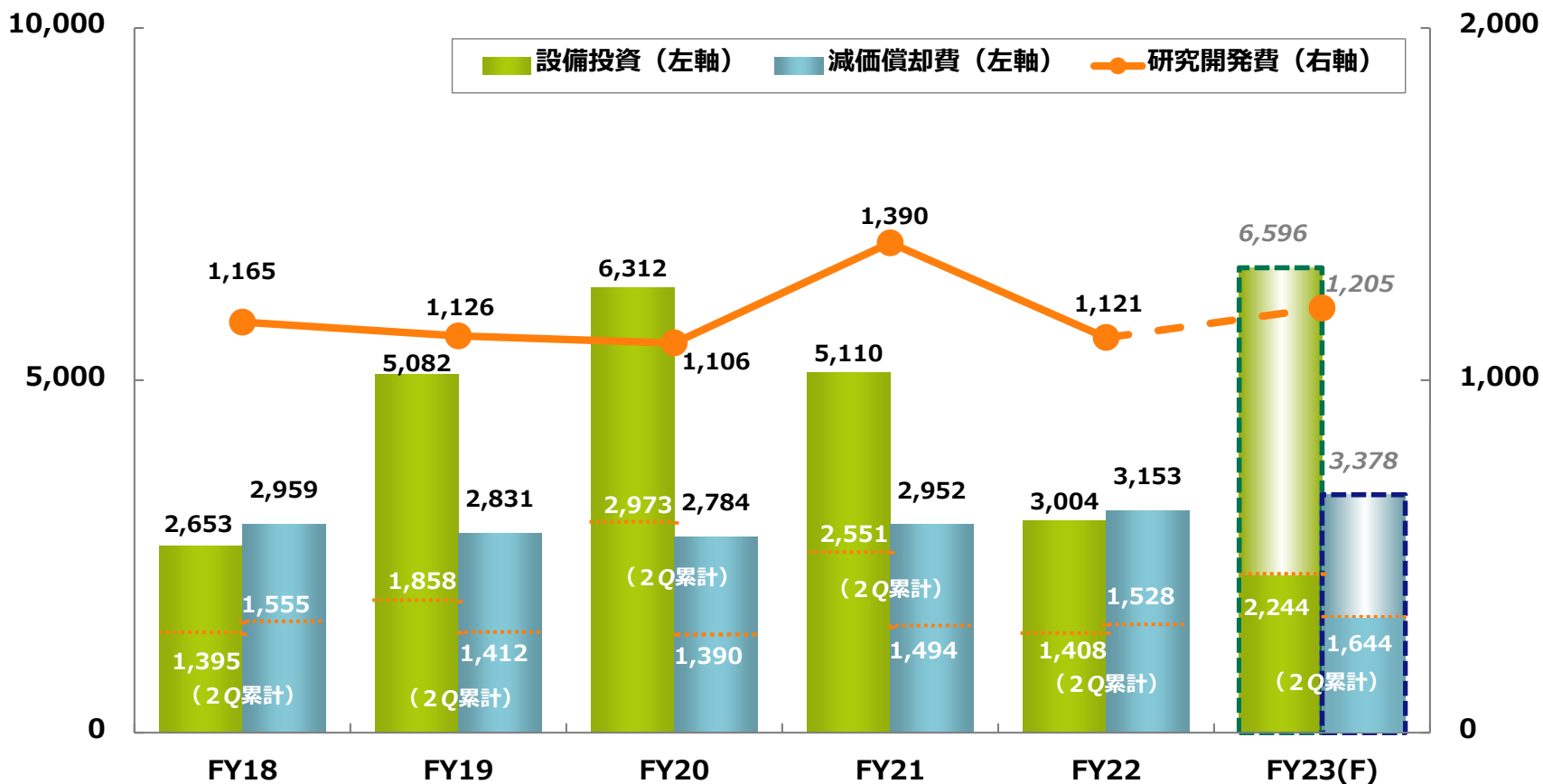
※ FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

## 5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

✓ 実施時期の見直し等で期初計画は下回るも、FY23の設備投資は前期比大幅増  
中期経営計画における515億円の設備投資計画実行に向け着実に進捗

(単位：百万円)

(単位：百万円)



# 5. 中期経営計画における戦略投資の方向性

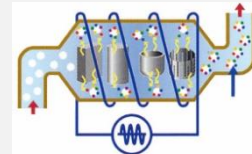
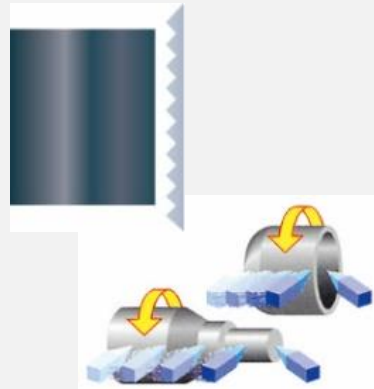
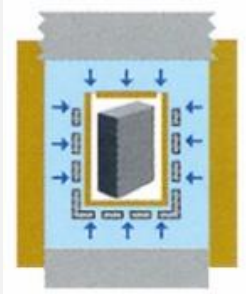
## ✓ 付加価値工程の能力増強により、市場での競争力をさらに強化

等方性黒鉛製造

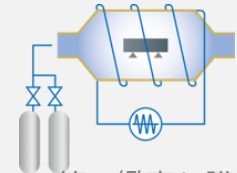
形状加工

高純度化

コーティング (SiC/TaC)



ハロゲンガス雰囲気下で熱処理し、黒鉛材料中に含まれる不純物を除去。半導体用途の高い純度要求に対応。



SiCやTaC等の緻密な膜をコーティングすることにより高温下で安定し、耐酸化性・耐食性・耐薬品性に優れる。また、黒鉛粉の離脱や飛散、黒鉛基材からのガスや不純物の放出を防止。

付加価値工程



シリコンウエハー製造炉部材

SiCウエハー製造炉部材

各種ウエハー製造用部材



シリコンエピタキシャル成長用  
サセプター

(SiCコーティング黒鉛製品)

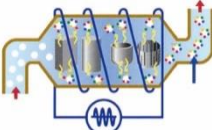
SiCエピタキシャル成長用  
サセプター

(TaCコーティング黒鉛製品)

各種エピタキシャル成長用部材

## 5. 中期経営計画における戦略投資の内容（決定分）

- ✓ 半導体用途を中心に、付加価値工程をグローバルで強化するべく能力増強を順次決定・実行 さらなる能力拡充に向け各種戦略投資を検討中

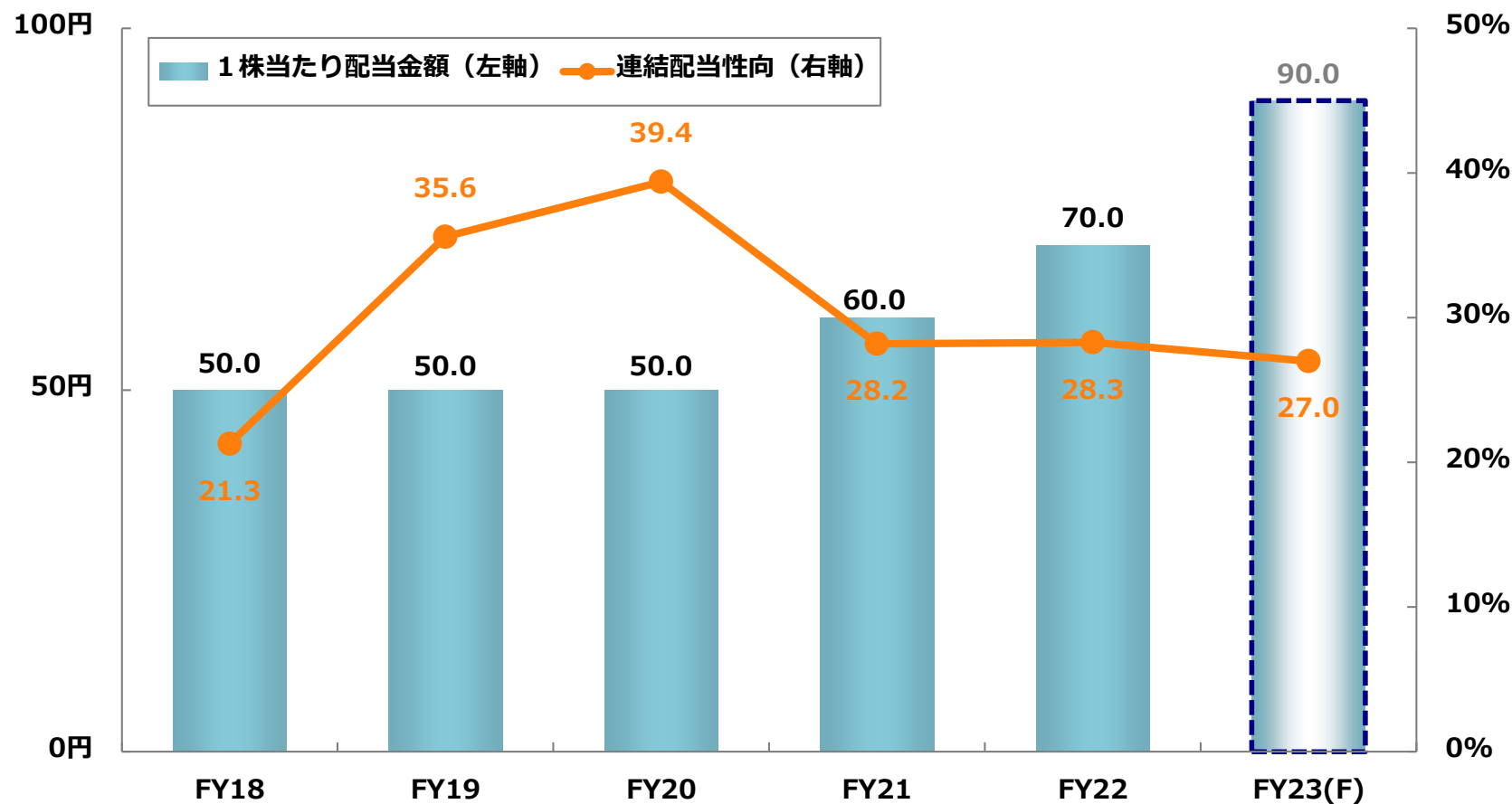
	エリア	投資額	増加能力	生産開始時期	主な用途
 高純度化処理	日本 (新棟建設)	50億円	1.9倍 (2022年比)	FY24/Q2~ FY25/Q3 にかけ順次	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体製造部材 (ウエハー製造・エピタキシャル成長・イオン注入等)</li> <li>医療用 (X線ターゲット部材)</li> </ul>
	アメリカ (増設)	15億円			
	中国 (増設)				
	イタリア (新設)				
	ドイツ (増設)	10億円			

	投資内容 /エリア	投資額	増加能力	生産開始時期	主な用途
 コーティング処理	SiCコーティング (日本)	20億円	1.5倍 (2022年比)	FY24/Q4	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体製造部材 (ウエハー製造・エピタキシャル成長等)</li> </ul>
	TaCコーティング (日本)	非開示	2倍 (2023年比)	FY24/Q3	

▶ SiCコーティングの一部装置はすでに稼働開始 FY23下期より売上寄与

## 6. 株主還元

✓ 業績の上方修正にともないFY23は期初計画より10円増配予定  
今後も利益成長に応じた株主還元を実施



# TOYO TANSO



Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 06-6472-5811(代)

E-mail : [ir@toyotanso.co.jp](mailto:ir@toyotanso.co.jp)